



個人投資家向けオンライン会社説明会

2026.4.23





目次

01

会社紹介

02

FY2026連結業績

03

海外事業の状況と
今後の展望



目次

01

会社紹介

02

FY2026連結業績

03

海外事業の状況と
今後の展望



Link-Uグループ株式会社

代表取締役
グループCEO

松原 裕樹

住所

東京都千代田区外神田2丁目2番3号

設立年月日

2013.8.20

資本金

477百万円
※2026年1月末時点

従業員数

単体 30名 連結 202名
※2026年1月末時点

業務内容

グループ会社の経営管理等

制作事業

マンガ / Webtoon制作
新規技術開発
システム開発



マンガサービス事業

国内・海外向けマンガメディア
プラットフォーム



データ分析
開発委託



オリジナル作品
技術・システム開発



広告マーケットデータ



マーケティング委託



マーケティング事業

自社プロダクト企画販売
マンガサービス向けマーケティング
マーケティングソリューション提供





COMIKEY

ブラジル国内での
売上前年比

270%

サブスクリプション
ユーザーの居住国数

190カ国
以上

143億PV超
Webtoon作品
『俺だけレベルアップな件』
国内流通独占



最も先進的プロジェクトにおける

AI生成コード比率

98%



提供マンガサービス

国内・海外あわせて

30以上

合計月間アクティブユーザー数(MAU)

2,000万人

合計月間閲覧数

500,000,000 件

世界最大規模のマンガ投稿サイト

投稿
作品数
累計

50,000 話以上



『身に覚えのない理由で婚約
破棄されましたけれど、仮
面の下が醜いなんて、一
体誰が言ったのかしら?』

✓ 日本

✓ アメリカ

✓ フランス

✓ タイ

世界4カ国の
主要マンガサービスで

ランキング1位を獲得

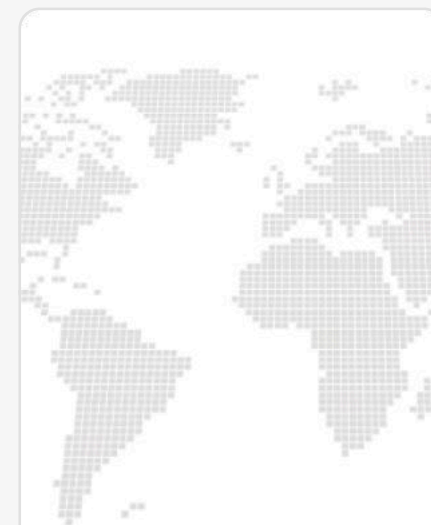


翻訳対応言語

5カ国語

月間翻訳ページ数

10,000
ページ



デジタルマーケティング

200以上の
国と地域で実施

※ISO 3166-1 alpha-2 (国・地域コード) に基づく区分



世界最大規模の
会員数を有する
アニメブランドと、
サブスクリプション
マンガサービスを運営

Group Purpose

あらゆる価値を解放し、ココロ震える体験を世界に。

FY2026
予算

社会的インパクト

世界中の人がマンガやアニメを中心としたコンテンツをより楽しめる社会の実現に向け、グローバルコンテンツビジネスの基盤を構築

財務インパクト

売上収益50億円／営業利益3.6億円 ※2026年3月16日開示の修正予算レンジの中央値

FY2026中核
事業戦略

グローバルビジネスの加速

×

IPの創出強化

×

領域拡大×AIによる生産性向上

LUの
培ってきたもの

IPホルダーとのリレーション

サービス運用で築いた、国内外のIPコンテンツホルダーとの信頼関係

自社設計オリジナルサーバー

大量のデータを、コストを抑えながら捌くことのできる事業エンジン

膨大なユーザーデータ基盤

月間MAU2,000万人を擁するサービス規模で積み上がるユーザーデータ

一気通貫の事業遂行体制

マーケティング・ニーズの掘り起こし・販路拡大など

取り巻く
環境

国内マンガ市場の競争激化

グローバルでの
コンテンツ市場の成長可能性国をあげた
エンターテインメント産業振興

AI技術の著しい発展

自社設計サーバーによるデータ配信技術が強みに、国内外のマンガサービスを企画・開発・運営

提供サービス例



出版社アプリの中で有数のDAUを誇る小学館のマンガアプリ



日本の発売日に世界中で最新の「ジャンプ」作品が読める集英社発の海外向けマンガアプリ



少年ジャンプの人気作も待てば読める！集英社のマンガ・ライトノベルが集結！

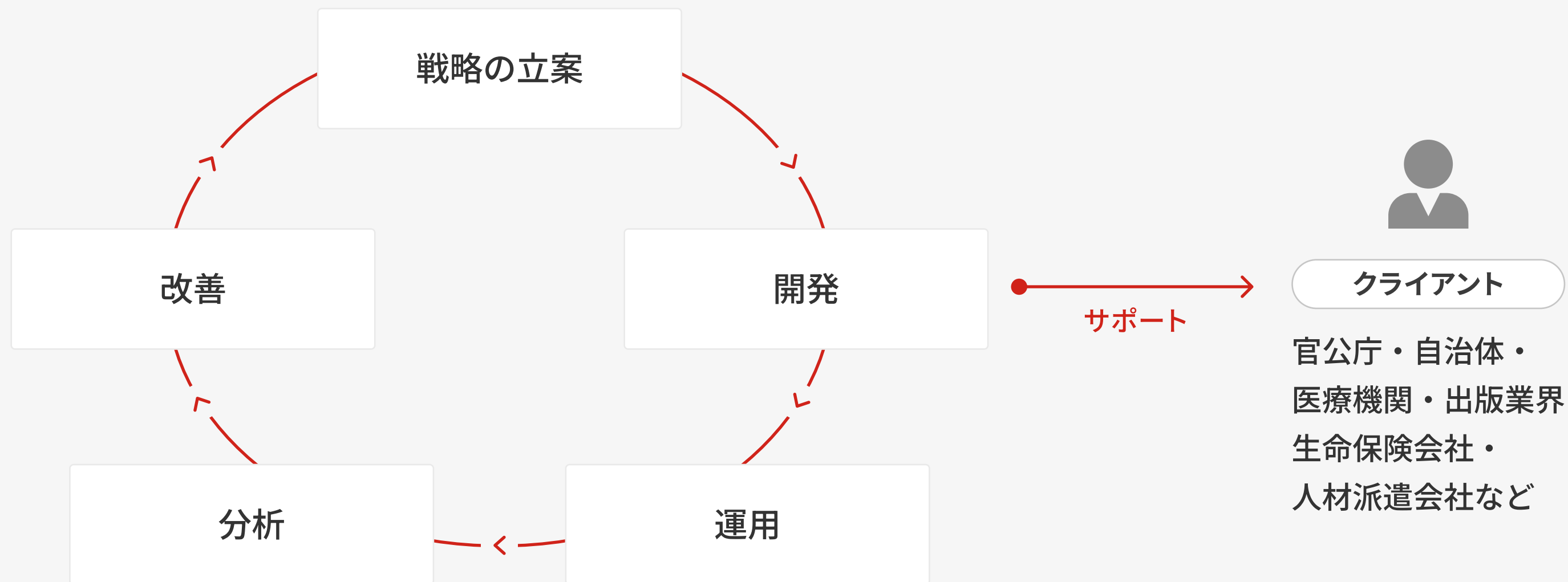


日本初の「雑誌読み放題」としてスタート！雑誌・旅行ガイド1000誌、マンガ6万冊以上が読み放題

提供：株式会社小学館 「プロミスシンデレラ」 ©橘オレコ/小学館

提供：株式会社集英社 「ONE PIECE」 ©尾田栄一郎/集英社 「Dr.STONE」 ©原作：稲垣理一郎/集英社 作画：Boichi 「アンデッドアンラック」 ©戸塚慶文/集英社 「レッドフード」 ©川口勇貴/集英社 「ブラック・クローバー」 ©田畠裕基/集英社 「僕のヒーローアカデミア」 ©堀越耕平/集英社

多様な業界を対象にDX推進を総合的に支援、近年はAI活用システム開発が主軸



オリジナルコンテンツの制作およびグローバル流通事業を展開

積極的にオリジナル作品を供給

グローバルに作品を流通

競合優位性の確立

他社との差別化を構築



『俺だけレベルアップな件』

© DUBU(REDICE STUDIO), Chugong, h-goon 2018 / D&C MEDIA



『身に着えの理由で婚約破棄されましたけれど、仮面の下が醜いなんて、一体誰が言ったのかしら？』

© 小嶋ねねこ・猫側縁 / コンパス



『金髪の姫將軍は元敵国の好敵手に嫁ぐ』

© 森川いく・羽鳥紘 / コンパス

インハウスマーケティングを事業化し、独立した運営体制を構築

インハウスマーケティング

WEBマーケティング

ファン共創型
マーケティング

ライフサイクル
マーケティング



目次

01

会社紹介

02

FY2026連結業績

03

海外事業の状況と
今後の展望

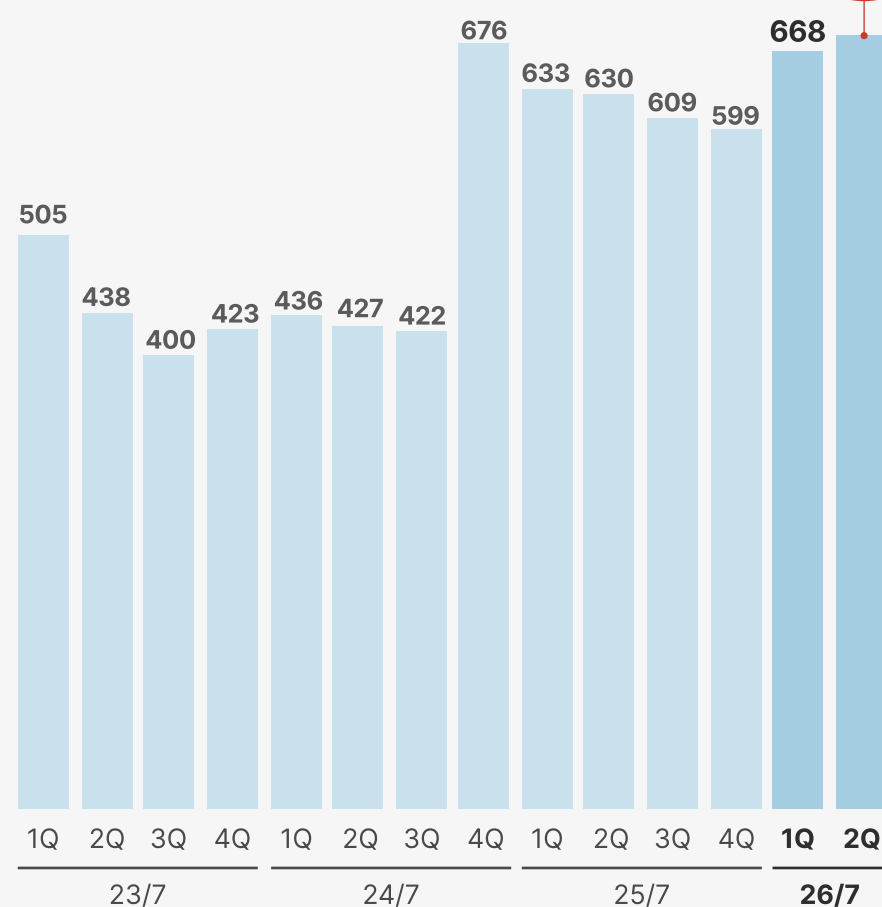
前2Q好調であったマーケティング事業の反動減により、業績は前期比で大きく減少

	前2Q累計	当2Q累計	前年同期比
(百万円)			
売上収益	2,624	2,285	87.1%
営業利益	303	56	18.5%
税引前利益	298	51	17.1%
親会社の所有者株主に 帰属する中間利益	95	4	4.2%

マンガサービス事業及び制作事業は四半期ベースで過去最高を更新 → 海外マンガサービスの成長と大型開発案件の受注等が寄与

マンガサービス事業

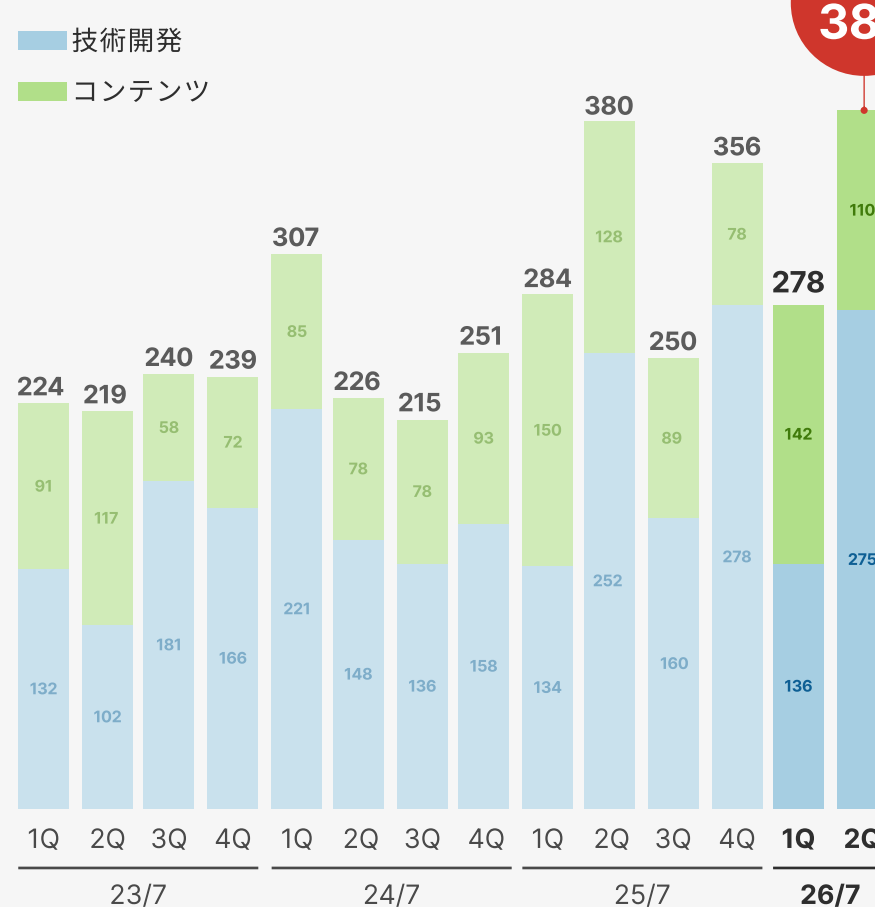
(百万円)

過去最高
683

制作事業

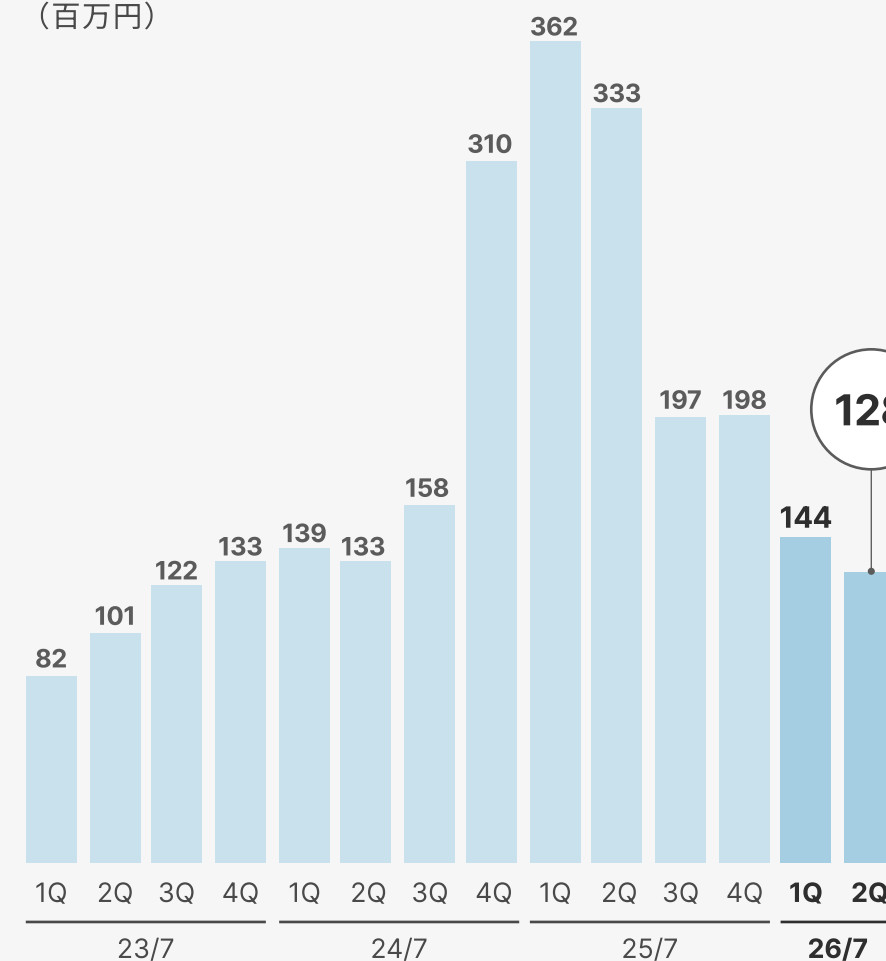
(百万円)

技術開発
コンテンツ

過去最高
385

マーケティング事業

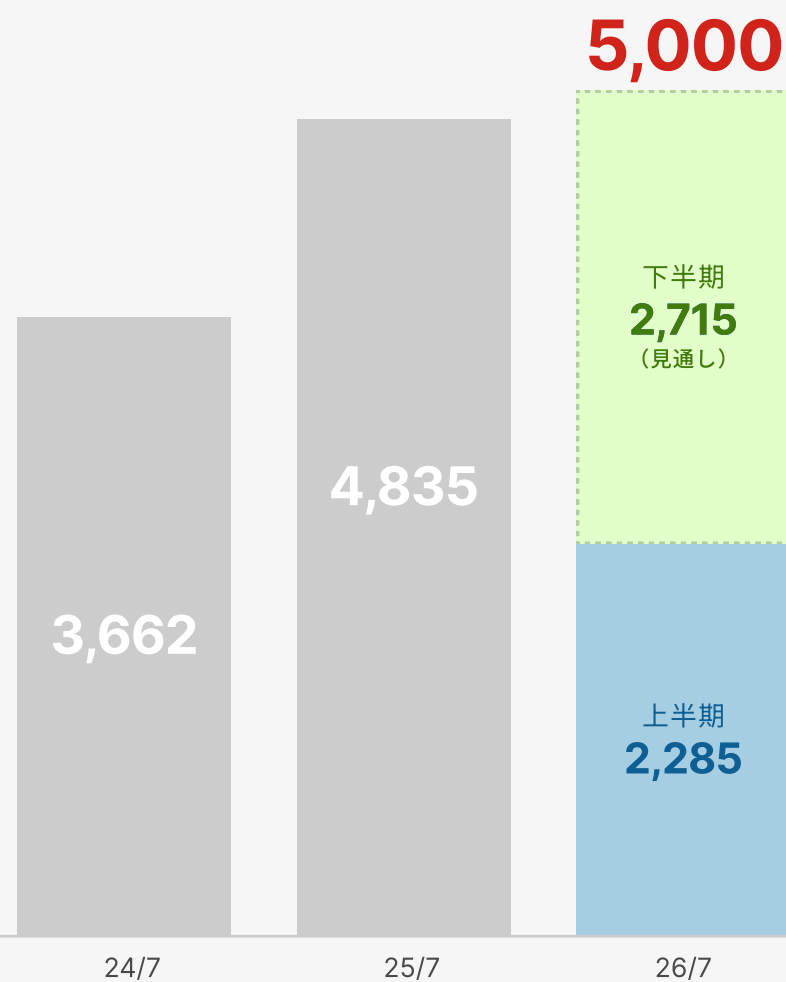
(百万円)



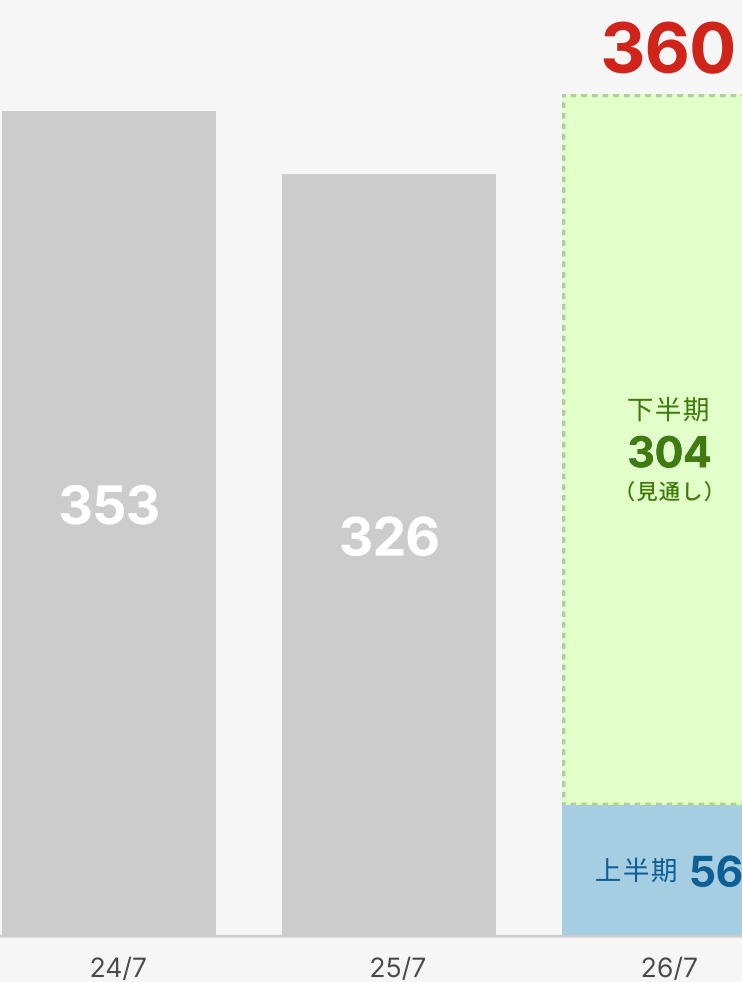
128

売上は2Qの好調を維持し、過去最高を見込む 営業利益及び営業利益率は、海外マンガサービスの成長により下半期に大きく改善

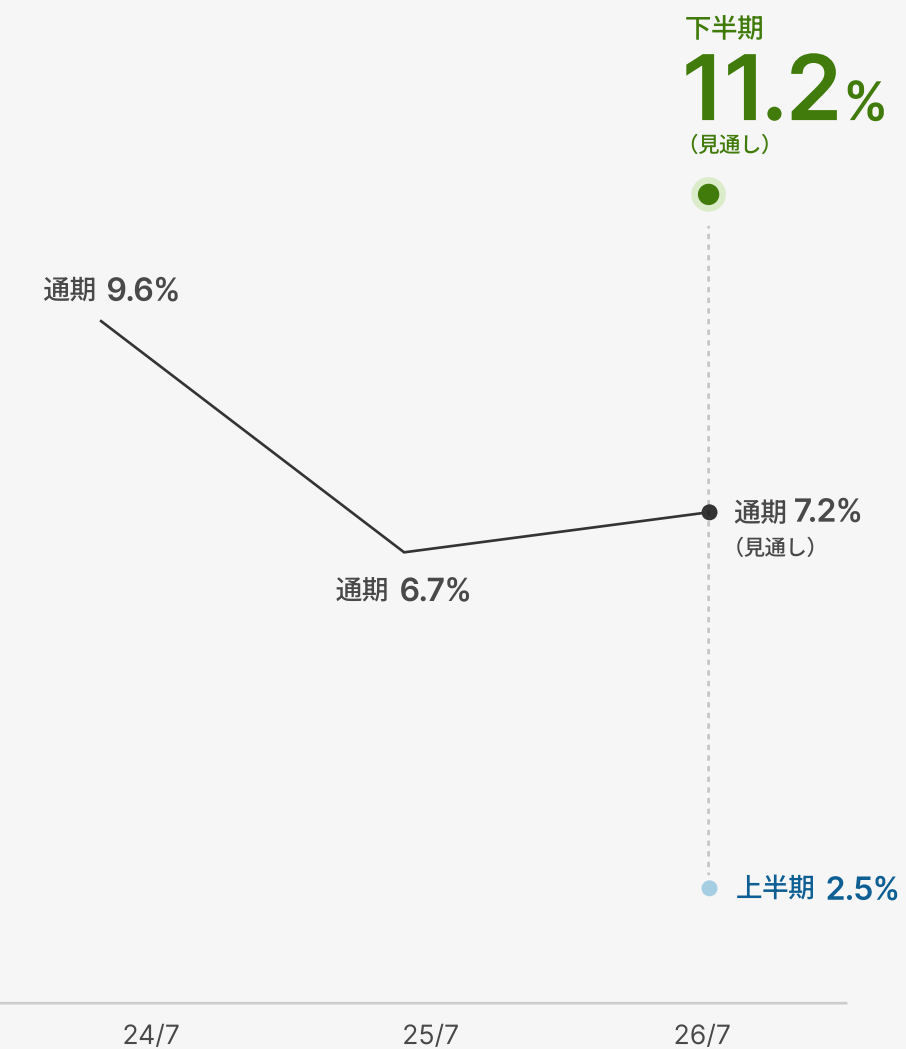
売上収益
(百万円)



営業利益
(百万円)



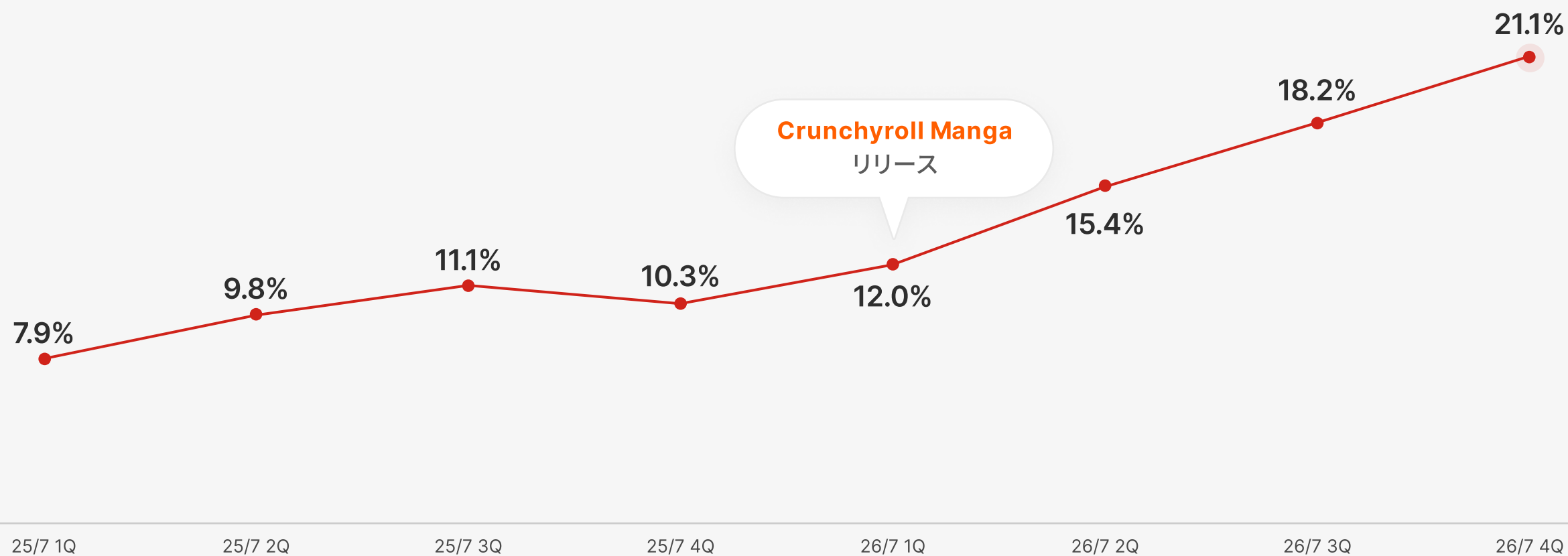
営業利益率



※2026年度下半期見込みは、2026年3月16日開示の修正予算レンジの中央値を基に算出

Crunchyroll Manga等の成長により、海外マンガサービス売上比率は昨年1Q比で2.7倍を見込む
→ 市場ポテンシャルが高く、かつ高収益率の海外事業の拡大により、全体の利益率向上が期待される

マンガサービス事業における海外サービス売上比率



※2026年度下半期見込みは、2026年3月16日開示の修正予算レンジの中央値を基に算出



目次

01

会社紹介

02

FY2026連結業績

03

海外事業の状況と
今後の展望

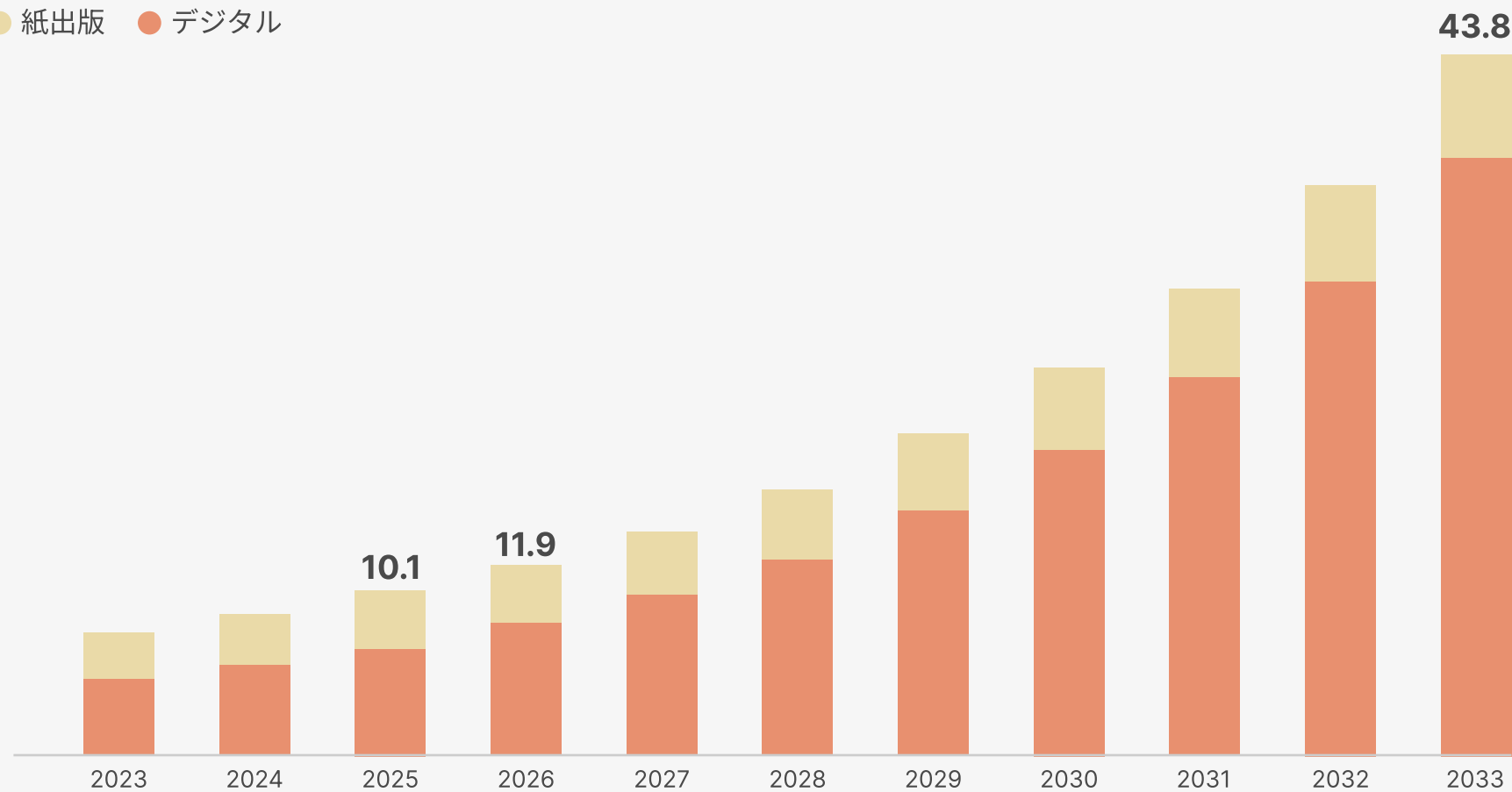
世界のマンガ市場はデジタル主導で拡大、年平均20.5%成長(※)・2033年に約7兆円規模へ

※成長率はアニメ市場の約2倍

世界のマンガ市場 成長予測

(USD Billion)

● 紙出版 ● デジタル



主な成長ドライバー

- ✓ デジタル配信によるアクセス性向上
- ✓ ローカライズの拡大
- ✓ クロスメディア展開
- ✓ クリエイター支援

出典：Grand View Research 「Manga Market (2026-2033)」 (2026.01)

海賊版被害は年8.5兆円、約90%が海外利用。背景には公式翻訳率5%未満の課題も

→ 正規版の拡充が成長の鍵に

海賊版による被害額推計

2025年6月

7,048 億円

年換算

8.5 兆円

※日本のコミック市場販売額の約12倍に相当

I 上位10か国の被害額推計 (億円)

1	インドネシア	922.6
2	日本	834.3
3	アメリカ	791.2
4	インド	388.9
5	タイ	324.8
6	フィリピン	295.6
7	ベトナム	228.1
8	ドイツ	192.5
9	マレーシア	188.1
10	フランス	181.5

背景

日本マンガの公式英語翻訳率

翻訳済み 5% 未満

未翻訳

※一般社団法人ABJ「出版物海賊版サイト調査報告書」（2025.10）等の情報をもとに当社作成

日本マンガの巨大な海外ポテンシャルを背景に、 政府関連予算が前年の2倍超へ海外事業展開を強力に後押し

日本発コンテンツの海外売上

コンテンツ振興に関連する政府予算

2024年 **252**億円 **2.2 倍** → 2025年 **556**億円

5.8兆円

2023年

政府目標

20兆円

2033年

出典：経済産業省「コンテンツ産業成長投資支援事業の概要」(2025.12)を基に当社作成。2024年は令和6年度補正予算と令和7年度当初予算の総額、2025年は令和7年度補正予算額

制作・翻訳・配信を一気通貫で担い、日本発マンガを世界へ届ける中核を目指す



①コンテンツ制作

| オリジナルマンガの制作

| 出版社からのマンガ調達

②ローカライズ

| 翻訳(英語・ポルトガル語)

| デジタルデータ登録

③配信

| 公開

プラットフォーム運営

| 企画

| UI/UX

| 開発

世界中のユーザーへ



自社コンテンツの海外実績が着実に蓄積

Webtoon



蜜を塗られたS級ガイド ©Dalpi, sua, Canibs / Studio Moon6

北米・欧州

第1位^(※1)

マンガ



身に覚えのない理由で婚約破棄されましたけれど、仮面の下が醜いなんて、一体誰が言ったのかしら？ ©小鳩ねねこ・猫側縁/コンパス

アメリカ・フランス・タイ

第1位^(※2)

金髪の姫将軍は元敵国の好敵手に嫁ぐ ©森川いく・羽鳥紘/コンパス

アメリカ

第2位^(※3)

※1：北米・欧州で展開する「Tappytoon」/ BLランキングにて（2025年8月18日時点）

※2：US Kindle Store / 3部門にて（2023年5月25日時点）、フランス版「ピッコマ」/ Romance部門にて（2022年12月12日時点）、タイの電子書店「meh」（ランキング入り確認済み・時期未特定）

※3：US Kindle Store / Romance Manga部門にて（2025年12月4日時点）

海外向けマンガ投稿プラットフォームを運営し、グローバル発ヒット作品の創出を推進

MANGA Plus Creators by SHUEISHA

海外クリエイターの育成



コンテンツの多様化（言語・ストーリー等）



グローバルヒットの創出

月間投稿数

600 作以上
1,500 話以上2025年12月の投稿作品が
「MANGA Plus by SHUEISHA」
「少年ジャンプ+」で掲載

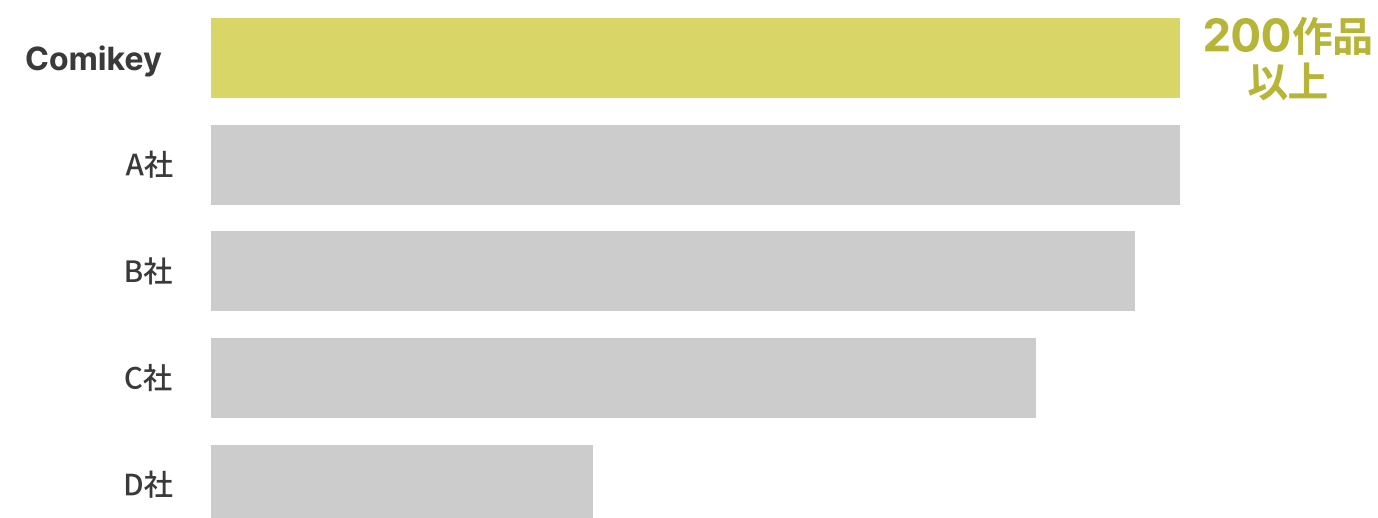
マンガ特化のローカライズ知見を有するグループ会社のComikey、 公式翻訳作品の拡大をけん引する存在へ

Comikey

- ✓ 毎月約10,000ページを翻訳
- ✓ サイマル配信（日本と同時配信）に対応可能

「MANGA Plus by SHUEISHA」や
「MANGA UP!」などに配信

日本マンガ英語版リリース数（北米大手出版社比）



※自社調査による（対象期間：2022～2024年） / Comikeyはローカライズ数、その他は出版リリース数を基準に比較

2025年10月のリリース以降、会員数・コンテンツ数ともに増加し、成長が加速
→ 2026年2月以降、集英社等の人気作を含む 70タイトル超を追加

| サービス基盤

概要
配信コンテンツ
配信作品数
有料会員数
対応言語
配信先
サービス間の連携システム

Crunchyroll

アニメ配信サブスクリプションサービス
アニメ
2000タイトル以上
1,700万人以上
12言語以上 (字幕・吹き替え)
200以上の国と地域

Crunchyroll Manga

「Crunchyroll」有料会員向けオプションサービス
マンガ
400タイトル以上
非公開
英語
アメリカ・カナダ



世界も「アニメ×マンガ」の新潮流に注目

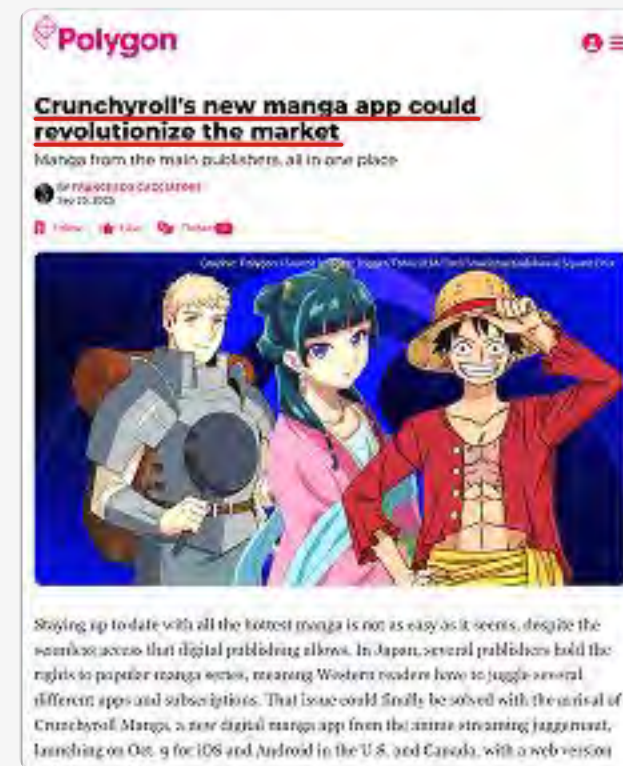
→ 唯一無二のシームレス体験を強みに、世界最大のマンガ配信プラットフォームを目指す



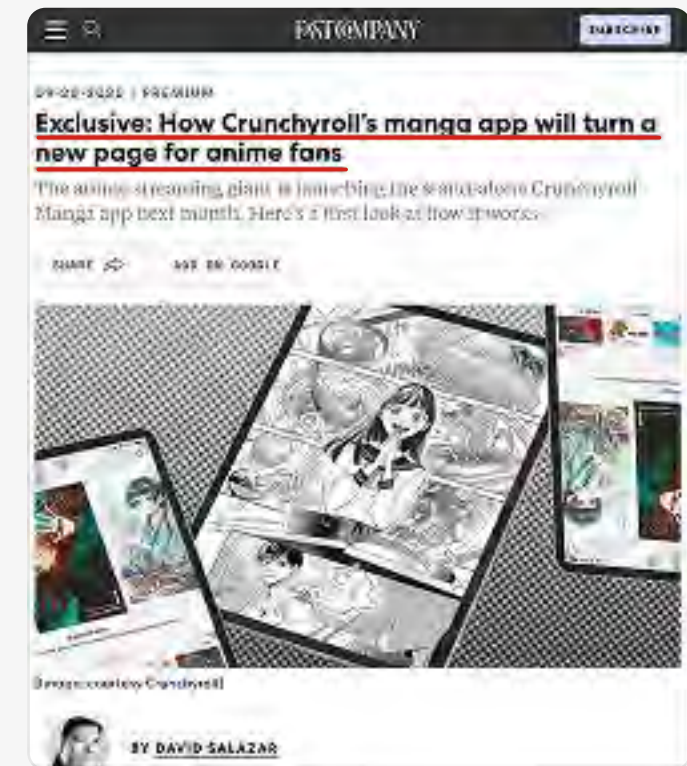
※出典：日経クロストrend
(2025年10月14日公開、記事画像を引用)



※出典：NewsPicks
(2025年11月21日公開、記事画像を引用)



※出典：Polygon
(2025年9月25日公開、記事画像を引用)



※出典：Fast Company
(2025年9月25日公開、記事画像を引用)



- 1 2026年度はマンガサービスと制作事業が好調
- 2 海外マンガサービスの成長により収益性が改善
- 3 海外マンガ市場のポテンシャルを捉え、事業拡大へ



本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料のいかなる情報も、当社の株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている当社グループの業績見通し、計画、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した、将来の業績に係る見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。